

市内2会場で
同時開催

開催時間：午前9時～午後17時（入館は16時30分まで）
休館日：会期中は休館なし
主催：「西田天香・杉本哲郎顕彰事業」実行委員会、長浜市

滋賀県長浜市元浜町一四八八 TEL0749-65-13100
滋賀県長浜市公園町一〇一〇 TEL0749-63-4611

2022年
10月29日〔土〕～12月11日〔日〕

長浜ゆかりの偉大な
思想家と芸術家

西田天香と 杉本哲郎

Tenko Nishida and Testuro Sugimoto

西田天香生誕一五〇年・杉本哲郎生誕一二三年記念

関連事業・シンポジウム

1 展示説明会

日時：11月5日④10:00～
会場：長浜城歴史博物館2階展示室
日時：11月5日④13:30～
会場：曳山博物館企画展示室

※事前申し込み不要、要入館料

2 シンポジウム「西田天香と杉本哲郎」

日時：11月19日④13:30～16:30
基調講演「西田天香」「杉本哲郎」
対談、パネルディスカッション

長浜城歴史博物館友の会共催

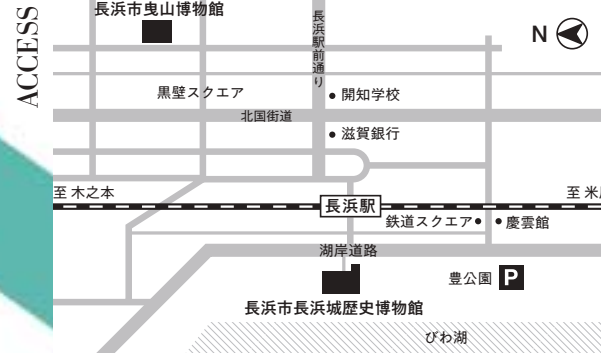
※要申込、詳細は長浜城歴史博物館HPをご覧ください。

3 長浜散策 天香ゆかりの地を訪ねる

日時：11月20日④10:00～12:00
集合場所：曳山博物館

※要申込、定員30名、詳細は長浜城歴史博物館HPをご覧ください。

長浜城歴史博物館 HP
<https://www.city.nagahama.lg.jp/section/rekihaku/>



▶二彩兎唐草鉢／河井寛次郎作 番倉院蔵



◀呉須花文扁壺／河井寛次郎作 番倉院蔵

▼コルベ寄贈マリア像／番倉院蔵
カトリックの聖人に列せられた
マキシリアノ・コルベが天香に寄贈したマリア像

長浜市長浜城歴史博物館
〒52-0065 滋賀県長浜市公園町 10-10 TEL 0749-63-4611
入館料：大人 410 円 / 小中学生 200 円
HP: <https://www.city.nagahama.lg.jp/section/rekihaku/>

長浜市曳山博物館
〒526-0059 滋賀県長浜市元浜町 14-8 TEL 0749-65-3300
入館料：大人 600 円 / 小中学生 300 円
HP: <https://nagahama-hikiyama.or.jp>

※20名以上の団体は2割引、長浜市・米原市の小・中学生は無料。
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方及び
その付添いの方1名は無料。(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

記念事業支援者

- 一燈園、エース株式会社、株式会社ケントク、株式会社材光工務店、株式会社サンメッセ日南、株式会社ジャクエツ、株式会社ダスキン、株式会社ダスキン木村、株式会社ロハス長浜、株式会社ヤマログループ、公益財団法人世界宗教者平和会議日本委員会、合同会社アップルツリー、国際宗教同志会、国際自由宗教連盟 (IARF) 日本連絡協議会、湖北工業株式会社、滋賀運輸株式会社、社会福祉法人日本ライトハウス、新健康協会、伝法寺、長浜光友クラブ、長浜信用金庫、中村家具株式会社、扶桑工業株式会社、古川工業株式会社、本願寺津村別院、有限会社中央プロパンガス商会、ワボウ電子株式会社、安藤こず恵、石井良和、石原一彦、出雲一郎、磯邊巖、伊藤和真、井上若菜、伊庭貞一、植田淳平、大塚敬一郎、岡本圭司、岡本知子、岡村精二、小川豊太郎、織田恭淳、川島典子、川添悦子、片山勝、鎌田純男、キタガワキヨカズ、北村秀彦、桐畑淳、空閑瑠実子、クニトモヒロユキ、紅林優輝子、後藤幸雄、小山武士、近藤信子、坂口喬次、坂口昇、坂口泰一、坂本豊春、四方富雄、白石和人、清水まゆ美、杉本太郎、杉本陽一郎、角谷嘉則、田中純子、網辰幸、富永満喜尾、中川武司、永富康修、中西東峰、ナカムラカツシ、西島喜紹、服部章、原実、平川泰延、福井久子、藤田勲、籠純子、堀井靖枝、前川周平、宮崎益美、宮本恵司、安田朗、ヤマグチテツオ、山口洋一、山崎弘子、吉田一郎、脇坂宏一 (五十音順、敬称略)



Great thinkers and artists
associated with
Nagahama

法悦の釈尊 / 杉本哲郎筆 新健康協会蔵



Tenko Nishida and Testuro Sugimoto

2022/10/29 Sat.-12/11 Sun.

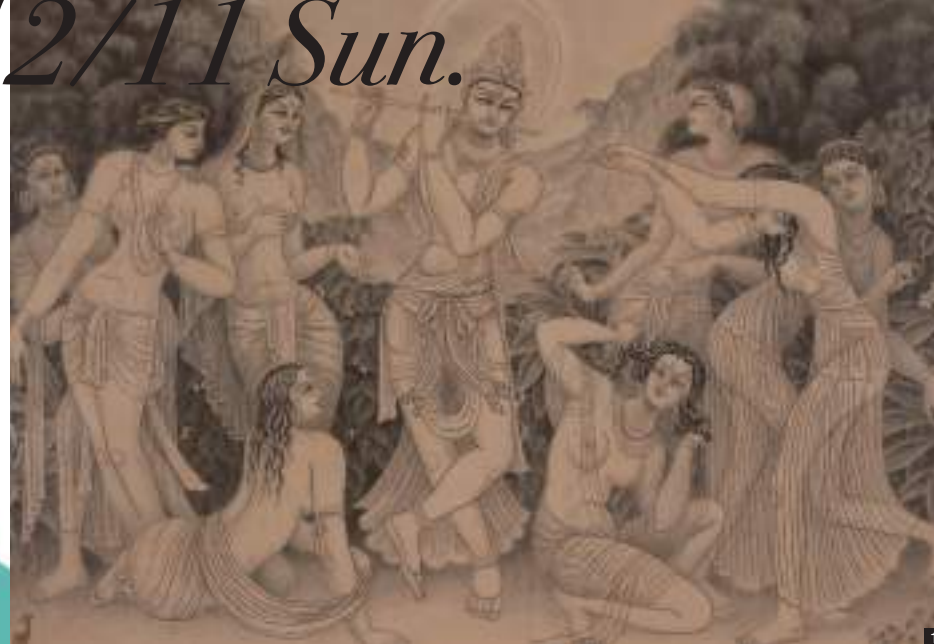
Tenko Nishida and Testuro Sugimoto

芸術家

杉本哲郎

1899-1985

Testuro Sugimoto



▲チャルカ / 香倉院蔵
インド独立運動の指導者ガンディーから人を通じて天香に寄贈されたもの。ドライ・ラマ 14 世をはじめとする宗教関係者が国際自由宗教連盟 (IARF) 世界大会においてこのチャルカで糸を紡いでいる。



思想家

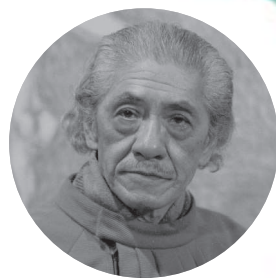
西田天香

1872-1968

Tenko Nishida

長浜ゆかりの偉大な思想家と芸術家

Great thinkers and artists
associated with Nagahama



近代日本の思想・文化史を語る上で重要な西田天香と深い親交があった日本画家が杉本哲郎（一八九九—一九八五）です。哲郎の父・善郎は、長浜にて材木商の息子として生まれ、善郎が長濱八幡宮にて主催した私塾に入門したのが西田天香でした。杉本家と天香の交流は、善郎の息子・哲郎にも受け継がれ、天香の孫にあたる西田多戈止氏（一燈園当番）とも交友がありました。

大津にて生まれた哲郎は、はじめ近代京都画壇の重鎮・山元春孝（一八七二—一九三三）に絵を学びます。のちに春孝のもとを離れ、インド・アジャンター壁画の模写など、古典に学んだ仏画をはじめ、様々な宗教を題材にした絵画を残し、その作品は世界で評価されました。現在も《無明と寂光》（本願寺津村別院）や《清水寺縁起》（ウエスニン都ホテル京都）をはじめ各地に哲郎が描いた障壁画が残っています。

本展では、初公開となる杉本哲郎の一大コレクションを中心に、哲郎の生涯と画業を紹介します。

西田天香（一八七二—一九六八）は、明治、昭和時代に活躍した思想家です。青年期に大きな挫折を経験し、大悟した天香は、資本主義社会が浸透する近代日本において「無所有・奉仕」の生活を送ります。こつした生活を実践する天香のもとには多くの賛同者が集まり、京都・鹿ヶ谷の地に、修養道場「一燈園」が建設されました。

天香の思想は、同時代を生きた実業家や芸術家に大きな影響を与え、ダスキン創業者の鈴木清一（一九一—一九八〇）、俳人の尾崎放哉（一八八五—一九二六）や劇作家となる倉田百三（一八九一—一九四三）らが一燈園を訪れ、陶芸家の河井寛次郎（一九〇—一九六〇）や日本画家の村上華岳（一八八八—一九三九）らが天香と親交を結びました。

本展では、長浜から北海道へ開拓し、悟りを開くまでの天香に関する資料や、天香と交流があった思想家や芸術家をはじめとする人々の資料を通じ、長浜名誉市民第一号となった西田天香と天香が開いた一燈園の歴史を紐解きます。



- 1 クリシュナの笛 / 杉本哲郎筆 京都信用金庫蔵
- 2 五月の野道 / 杉本哲郎筆 京都市美術館蔵
- 3 マハヴィーラ / 杉本哲郎筆 滋賀県立美術館蔵
- 4 メッカへの礼拝（世界十大宗教壁画のうち） / 杉本哲郎筆 新健康協会蔵
- 5 菩薩立像 / 杉本哲郎筆 セガサミーホールディングス株式会社蔵
- 6 文殊菩薩（釈迦十大弟子・二菩薩のうち） / 棟方志功画 香倉院蔵
- 7 普賢菩薩（釈迦十大弟子・二菩薩のうち） / 棟方志功画 香倉院蔵
- 8 三円相 / 西田天香筆 香倉院蔵

